



▲ルートイン石岡と連携したハシゴ車による救出・救助訓練の様子

市

では3年に一度、市全域を対象に総合防災訓練を実施しています。

総合防災訓練は、市と防災関係機関(消防・自衛隊・警察・医師会等)及び地域住民が連携し、実践的な訓練を行うことで相互の協力体制を強化するとともに、市民の防災に関する理解と意識の高揚を図る目的で実施しています。

今年度は11月24日に本庁舎駐車場にて実施。雨天のなかでしたが、1,019人と多くの方に参加していただき有意義な訓練となりました。

命を守るリハーサル

石岡市総合防災訓練に 1,019 人

今回の訓練で 初めての取り組み



▼今回の訓練では、新たにドローンによる被害状況調査、ボランティア窓口設置訓練や救援物資受渡訓練などを取り入れました。



▲ドローンを使って撮影した当日の様子

被害状況調査

茨城大学航空技術研究会の協力により、本庁舎上空からドローンによる空撮を行いました。

ドローンは、大規模災害時に人が立ち入れない現場などの被害状況を確認するのに有効な手段です。

■訓練の想定

11月24日午前9時、茨城県沖を震源とするマグニチュード7.7の地震が発生し、石岡市周辺では震度6強を観測。

市内では、土砂災害が発生し、市内各所に多数の避難者が発生した。

■参加者の声

・降雨でも実施したことがよかった。
 (60代男性)

・子どもたちが体験できて勉強になった。
 (30代女性)

・今後も継続して訓練を実施してほしい。
 (70代男性)



1 陸上自衛隊勝田駐屯地・石岡警察署・石岡消防本部による土砂からの人命救出訓練

2 陸上自衛隊によるカレーの炊出訓練

3 約100人の住民・外国人・ペットの同行避難訓練

4 石岡市医師会・歯科医師会・薬剤師会・保健師・看護学生などによるトリアージ訓練

※トリアージとは、一人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うため、傷病者の緊急度に応じて、搬送や治療の優先順位を決めることです。

みなさん、来てくださりありがとうございます。

防災ラリー

これからの石岡を担う小中学生にも防災について理解し、活動できるような防災ラリーやイバライガーの出演などを通し啓発しました。



文京区・多賀城市との共同訓練

相互応援協定先である東京都文京区と起震車体験・救援物資受渡訓練などの実施を、宮城県多賀城市と通信訓練をそれぞれ実施し、連携

強化を図りました。起震車で震度7を体験した参加者は「立ってられないほどの激しい揺れで驚いた」と話しました。



▲文京区の起震車